



[47] 沐雨染付精円鉢

左右16.8cm奥行10.5cm高4.5cm
◆陶芸家として名高い林沐雨の染付鉢。多彩な作風で知られる沐雨だが染付は数が少なく、これほど綿密に山水画を描いたものとなると極めて珍しい。箱付。落款：沐雨



[46] 松仙黒釉隅切切立長方鉢

左右13.2cm奥行9.2cm高3.5cm
◆明治期に活躍したと伝えられる陶工。当時の著名愛好家から指導を受けたとされ、本器のような釉薬物で鉢映りの良い優品を残している。箱付。落款：松仙



[39] 九谷一向金彩墨絵雲龍図木瓜式鉢

左右21.1cm奥行19.2cm高6.3cm
◆使い勝手の良さと愛好家から人気の高い木瓜式の型。間口と奥行き之差がほとんどなく、根張りが発達した雑木でも使うことができる。鉢面に収まらない大胆な構図と筆致が見事である。箱付。落款：九谷一向



[38] もみじ〔獅子頭〕

樹高14cm左右28cm 鉢/和楕円
◆株状に幹枝が広がっており、特に足元に伸びる左下枝の存在感がよく利いている。枝もよく締まった逸品。



[49] 五葉松

樹高22cm左右18cm 鉢/吉興長方
◆細い幹が上下左右に細かく屈曲し、唯一無二と言える個性的な樹姿を創出。吉興鉢との組み合わせも絶妙。



[48] 真柏

上下24cm左右23cm 鉢/吉興長方
◆風になびく羽衣のように大きく広がる天ジンが印象的な作品。真柏らしい躍動感溢れる樹姿に大縁の変わり鉢がよく映える。



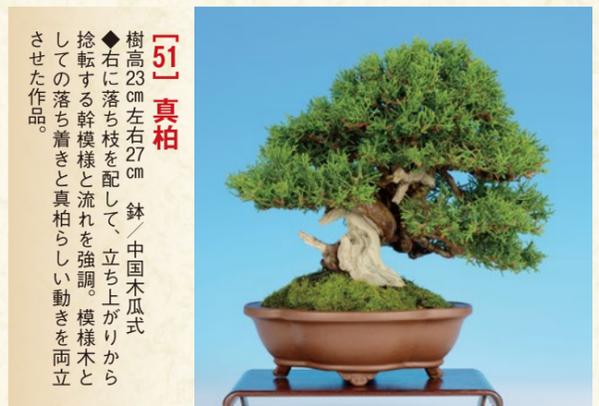
[41] 真柏

上下24cm左右30cm 鉢/吉興木瓜式
◆小品盆栽としてはやや長く感じる懸崖枝だが、活かす選択も面白い。シャリ幹の芸味も個性的。



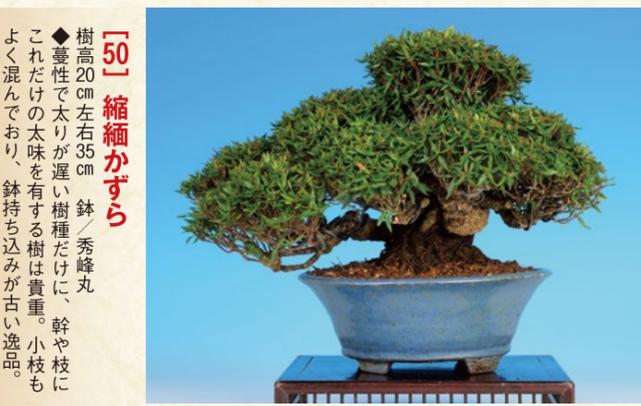
[40] くちなし

樹高17cm左右32cm 鉢/和長方
◆小枝が細かく分岐し、下枝も低い位置でまとめられている。幹肌の古さも秀逸。



[51] 真柏

樹高23cm左右27cm 鉢/中国木瓜式
◆右に落ち枝を配して、立ち上がりから捻転する幹模様と流れを強調。模様木としての落ち着きと真柏らしい動きを両立させた作品。



[50] 縮緬かすら

樹高20cm左右35cm 鉢/秀峰丸
◆蔓性で太りが遅い樹種だけに、幹や枝にこれだけの太味を有する樹は貴重。小枝もよく混んでおり、鉢持ち込みが古い逸品。



[42] 石化松〔雅〕

樹高32cm左右32cm 鉢/中国長方
◆葉が矮性で枝打ちも細かい石化松で、葉性が柔らかいハツ房品種。この寸法は希少。



[43] 一石五彩長方鉢

左右10.5cm奥行7cm高2.8cm
◆色鮮やかな発色で描かれた鳥の意匠が印象的な作品。すっきりと整ったフォルムで上品な鉢映りを演出する。箱付。落款：阿比こ山一石作



[53] 泰山色絵桔梗図正方鉢

一辺7.4cm高3.2cm

◆焼成当初は鮮やかな色彩だったのだろうが、年数を経て発色が落ち着き、見事な風格を見せる逸品。窯傷と足にホツレあり。落款：泰山



[52] 大助隅切正方鉢

一辺8.2(7.9)cm高7cm
◆辰砂釉をベースに、中央部に帯状に白釉が施されて絵付されるという凝った細工が面白い作品。辰砂釉の釉垂れと激しい水面の意匠が見事な調和を見せている。箱付。落款：大



[45] 真柏

樹高30cm左右33cm 鉢/舟山楕円(ニューあり)

◆巻き上がるように伸びる幹雲の力強さが秀逸。ジンやシャリが醸し出す古木の風情も味わい深い作品である。舟山鉢にはニューあり。



[44] 東福寺緑釉長方鉢

左右11cm奥行8.2cm高4.7cm

◆かなり古い時代に焼成されたと思われ、鉢面に呈した古色が素晴らしい。雲足細工の細やかさも見事である。箱付。落款：東福寺

